



(10月25日クラブ帆走会のスタート後のシーン:運営艇/マーチより)

*会長のメッセージ

早いもので今年も残すところ1ヶ月となりました。そして2016年はクラブ創設40年になります。

12月4日、尼崎港管理事務所と泊地移動の協議を再度行います。今現在、移動場所の海底整備が終わってないので、工事日程が出ないのです(海上保安庁との安全上の協議と撤去杭の予算上の問題)。他、名神湾岸線問題など有りますが、確実に尼管は移動要求をします。

クラブとして最上の移転条件を引き出し、移動したいと思しますので会員の御協力をお願い致します。

協議の報告は総会にてさせていただきます。

小山 正明

*9月19日～ クラブ合同クルージング：運営/漆川

三度目の正直なのか、最高のクルージング日和となり、集合場所の志筑港には、9艇ものクラブ艇/30名以上が集結しました。夕方からの懇親会では、夜が更けるまで楽しく有意義な懇談が続きしました。

翌日も非常に良い天気恵まれ、多くのクラブ艇はこのシルバーウィークの連休を利用して更にクルージングの足を延ばすために、早朝から志筑港を出港して行かれました。

クラブ員皆様のご協力、大変ありがとうございました。



参加艇：マーチ、ゆうばれ、はてな、SSCC、コントレール、ドリーマー、美帆、スプラッシュ、ウインドミル

***艇種変更：メールブルー/細入さん（Y-30CⅡ→岡崎ブリアン34）**

メールブルーを新しくしました。

ヤマハ30CⅡは長年乗っていたため、自分の体の延長で自由に動いていました。

しかし、昨年の一時期、腰を痛め、杖をついて歩く状態を経験しました。

そのような体力の衰えもあり、機走・帆走ともに安定した走り、安心感を求めました。

大阪湾、播磨灘そして瀬戸内海を西へと遊ぶのがこれからの望みです。

少しずつ海の上の生活を増やしたいと思っています。

新しいメールブルーもよろしくお願いいたします。



***のり網にご注意！**

10月から大阪湾～播磨灘の沿岸にはのり網が随時敷設されています。航行には十分な見張りを行ってください。

今年の「のり網海図」は昨年と同様です、クラブハウスに在庫がありますので、自由にお持ちください。

10月2日須磨沖で、のり網の敷設ロープにヨットのプロペラが絡みニュースになっていました。

***10月25日クラブ帆走練習会と親睦会：運営/漆川**

週末は快晴ながらも強い北風が吹き、帆走練習会としては多少タフなコンディションではありましたが、10艇ものクラブ艇と数多くのクラブ員の皆さんにご参加頂きました。

午前9時30分の艇長会議の後、午前10時40分スタート。（冒頭の写真）

時折20ノットにせまる北風の中、西宮防波堤を廻航するコースをセーリングして頂きました。

腰の強い北風の中、久々にダイナミックな帆走を楽しんで頂いたとも思います。

その後、クラブハウス裏での親睦会には約40名の参加者で大いに盛り上がりました。

参加艇：コントレール・ゆうばれ・L a i n e・はてな・シーサー・ミホ・TAM・120MO・TOM・海心
ご参加のみなさん、大変お疲れ様でした。



（スタート後、コントレールより1ショット）

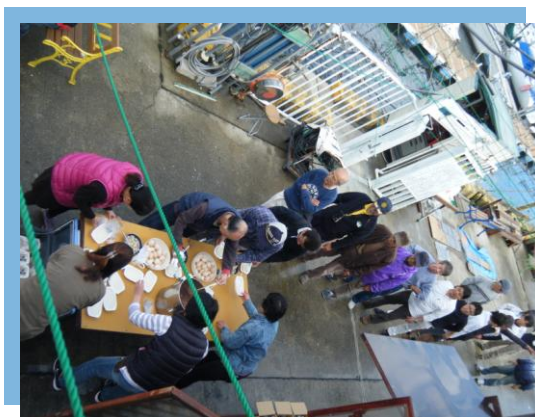


（クラブハウスの裏側はポカポカ陽気！）

* 11月15日共同義務作業と救急救命講習会：泊地/横尾、施設管理/高橋、安全/岩崎、社会貢献/上浦

15日（日）朝には雨は上がり、爽やかな秋空の下、約50名のクラブ員やクルーの皆さまが共同作業に参加。10時から杭のジंक交換、流木の引き上げと切断、草刈、缶トリー、倉庫の整理・・・と手際よく進みました。

12時半からカレーランチ・・・行列が出来ます



13時半～15時、西宮消防署西宮浜分署から、4名の救急救命士が来訪されて人工呼吸やAEDの講習会

・・・救命救急講習会に参加いただいたみなさんありがとうございました。

活発な質問と体験参加、またユーモアも交えながら有意義な講習会をしていただきました。

いざと言うときにいつか役に立つかもわかりませんね。（安全・岩崎）

15時～約1時間、ミニ集会を開催

高倍副会長の進行で、小山会長の泊地問題の現状報告、高橋PTリーダーの活動報告と棧橋の現状について説明の後、約30人の会員との質疑応答が行なわれました。

クラブ員、クルーの皆様ご協力ありがとうございました！



*2015年11月14日実行チーム及び11月21日合同委員長会打ち上げ

クラブを支える各委員長の皆様のご尽力に感謝いたします。

また、実行チームは6回のMeetingと2回の実習作業、御苦労さまでした。

2016年も新しい力を募集しています、得意分野でなくてもチャレンジしてみてください、委員長のサポートでもかまいません。全員参加でないとクラブの維持が出来ません。実行チームも即戦力が必要です。

*2015年一文字ヨットクラブ年次総会開催について

・12月5日（土）NICC（西宮浜産業交流会館）14時～20時（開場：13時30分）

・・・正会員全員に「出欠の往復ハガキ」を発送しています、返信用ハガキに記名して投函願います。

尚、止むを得ず欠席の会員は従来通り、他の正会員に「委任状」を託して下さい。

又、本年度は正会員が欠席の場合は、所属する艇の準会員が、その正会員の委任状を託して出席可とします。

***自由投稿：クロアチア周航記：L a i n e/ユハさん**

一文字ヨットクラブ会員 クロアチアクルージング

IYC メンバー、小山正明、岡崎賢二、Juha Lintuluoto
3人でクロアチアのアドリア海で1週間のクルージング
を楽しんできました。

ベースポートである Bavaria46 に他2名のクルージング
メンバーとともに乗り込みました。



ホーム港である Trogir は Split 市や国際空港のすぐ近
くにあります。Vis 島に向かうファーストレグ (35NM)
ではとても強い風、波でしたが、Vis 島に着くころには
雨が私たちを”優しく”迎えてくれました。

続くレグでは穏やかな風と太陽のもとで Hvar 島の
Vrboska という町に向かいました (モーター、30NM)。
Vrboska ではとてもおいしい食べ物とワインを楽しみ
ました。

今回のクルーズでは最長であったレグ 3 (55NM) で、
Sibenik にほど近い小さくて美しい島、Zlarin へ向か
いました。

次の日は Sibenik で”みるべき”観光スポットを訪ね、
豪華なマリーナに滞在しました。

レグ 4, 5 で Solta 経由で Trogir に戻り、有名な Split
港を訪れました。

振り返ってみると、ほぼすべてと言っていい天候、風
を体験し、かつよい食べ物、素晴らしい人々との出会
いがありました。



他に何を望むというのでしょうか。今回のクルージ
ングでは航行中の漂流を一度もせず、Tripadvisor.com
で推薦されているレストランで食事をしたことが毎回
よい食事であった理由かもしれません。係船料は水、
電気代込で 70~110 ユーロで、食事と飲み代もお
手頃でした。

なによりも良い友人たちとすごした時間が一番すば
らしいものでした。